

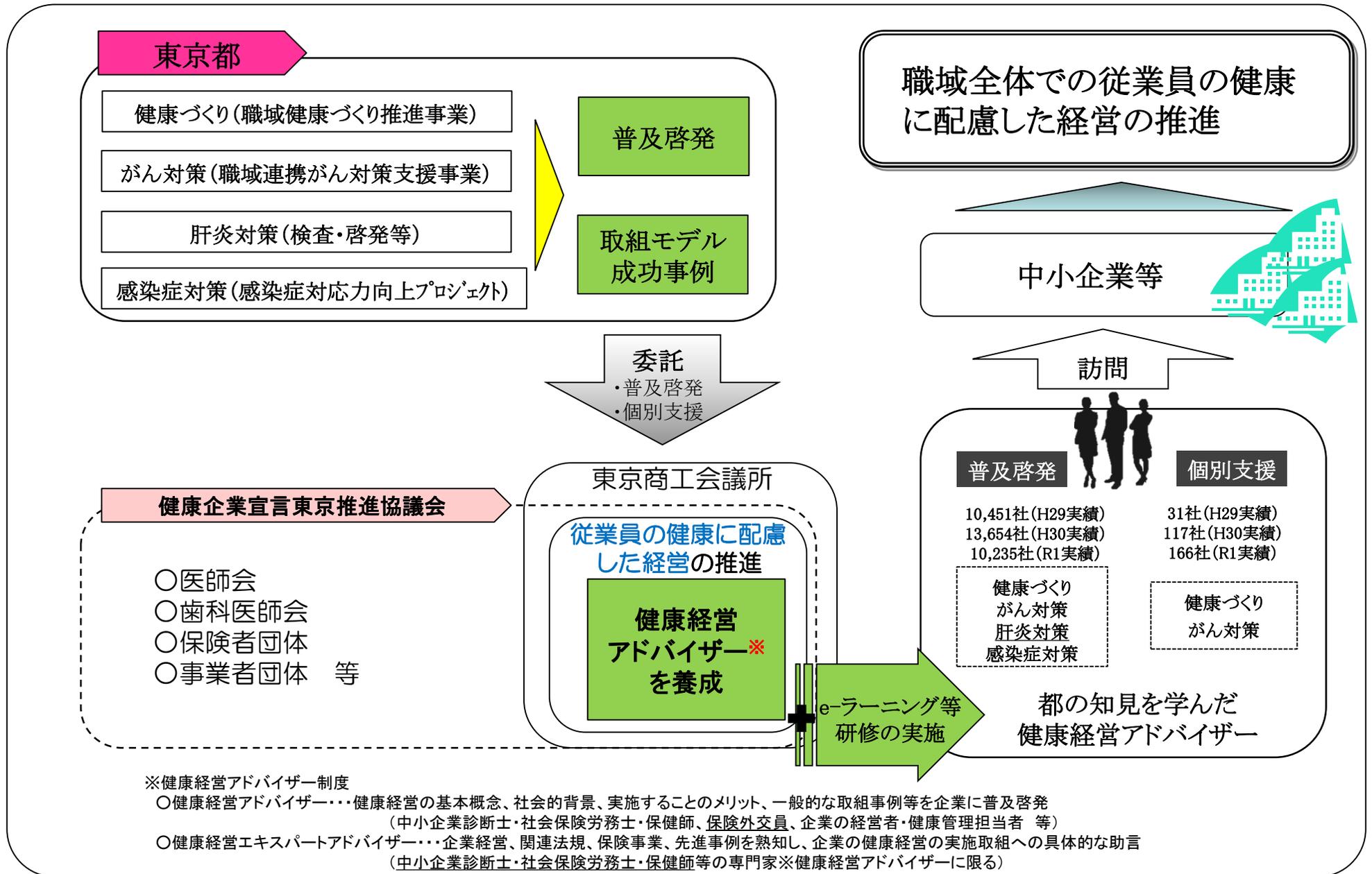
肝炎対策の取組実績等について

普及啓発について

1 肝炎に関する普及啓発

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
世界(日本)肝炎デー 及び肝臓週間における 普及啓発		都庁舎内における受検勧奨等パネル展の開催					
		都広報誌への受検勧奨等記事の掲載					
		ラジオ(TBSラジオ「都民ニュース」)放送による受検勧奨					
		MXテレビ「TOKYOインフォメーション」放送による受検勧奨					
		「ときょう健康ステーション」(ホームページ)内にて 肝炎に関する説明ページの掲載					
		都庁舎内サイネージ(総合行事案内表示盤等)への受検勧奨メッセージの表示					
		新宿西口「動く歩道南北掲示板」への受検勧奨等ポスター掲示					
		4号街路柱面ディスプレイへの受検勧奨等ポスター掲示					
		ウイルス性肝炎早期発 見・治療キャンペーン	新宿駅西口地下広場の大型ビジョンでの普及啓発動画の放映				
			デジタルサイネージ「DHC channel」での普及啓発動画の放映				
			福祉保健局ホームページ・Twitterにおける普及啓発画像掲載				
肝炎ウイルス検査 受検勧奨等に関する印刷物等の作 成・配布	都民向け	①リーフレットの作成・配布 (100,000部)			増刷(10,000部)	→	
	主な配布先: 区市町村、医 療機関等	②ポスターの掲示(継続) (24年度作成11,300部)				→	
	職域向け	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 【事業主・陽性者向け2種】 (100,000部)	
	主な配布先: 東京商工会 議所会員企 業、都内健康 保険組合等						

2 東京都職域健康促進サポート事業



肝炎ウイルス検査の実施体制の整備について

1 肝炎ウイルスの受検勧奨及び実施体制の整備

○肝炎ウイルス検査体制の整備と受検勧奨

- (1) 医療保健政策区市町村包括補助事業(補助率:都1/2)
- ① 肝炎ウイルス検査受検勧奨事業
 - ・受検勧奨リーフレット、個別勧奨リーフレット等の作成費用
 - ② 肝炎ウイルス検査受検歴把握事業への補助(平成26年度より追加)
 - ・肝炎ウイルス検査対象者の過去の受検歴の把握に係る費用
- (2) 健康増進事業(補助率:国1/3、都1/3)
区市町村が実施する、40歳以上への肝炎ウイルス検査及び個別勧奨に係る経費
- (3) 特定感染症検査等事業(補助率:国1/2)
都、区及び保健所設置市が実施する、健康増進事業対象者以外への肝炎ウイルス検査に係る経費

○肝炎ウイルス検査実績(平成27年度～令和元年度)

<B型>

	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率									
健康増進事業	110,233	727	0.66%	97,037	601	0.62%	92,847	571	0.61%	91,009	554	0.61%	83,947	496	0.59%
特定感染症検査等事業	8,968	86	0.96%	10,673	79	0.74%	10,362	62	0.60%	11,221	76	0.68%	9,625	55	0.57%
計	119,201	813	0.68%	107,710	680	0.63%	103,209	633	0.61%	102,230	630	0.62%	93,572	551	0.59%

<C型>

	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率									
健康増進事業	110,298	514	0.47%	97,106	408	0.42%	92,889	347	0.37%	91,058	247	0.27%	83,991	216	0.26%
特定感染症検査等事業	8,259	8	0.10%	9,202	13	0.14%	8,592	15	0.17%	9,291	15	0.16%	7,732	17	0.22%
計	118,557	522	0.44%	106,308	421	0.40%	101,481	362	0.36%	100,349	262	0.26%	91,723	233	0.25%

肝炎医療の提供体制及び人材育成について

1 肝炎診療ネットワークの充実

(1) 医療機関の指定

○東京都肝疾患診療連携拠点病院の指定

都の肝炎対策の中心的役割

(2か所)

- ・虎の門病院
- ・武蔵野赤十字病院

○東京都幹事医療機関の指定

地域における中核・指導的な医療機関

(11か所)

- ・東京慈恵会医科大学附属病院
- ・慶應義塾大学病院
- ・東京女子医科大学病院
- ・順天堂大学医学部附属順天堂医院
- ・東京医科歯科大学医学部附属病院
- ・東京大学医学部附属病院
- ・日本医科大学付属病院
- ・昭和大学病院
- ・東邦大学医療センター大森病院
- ・帝京大学医学部附属病院
- ・日本大学医学部附属板橋病院

○東京都肝臓専門医療機関の指定

社団法人日本肝臓学会理事長から認定をうけた肝臓専門医又は指導医が在籍
毎月更新し、東京都ホームページで公表

- ・都内 399か所
- ・都外 250か所

合計 649か所(令和3年3月1日現在)

* 東京都肝疾患診療連携拠点病院、東京都幹事医療機関を含む

(2) 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の開催

肝疾患診療連携拠点病院、幹事医療機関、都が、都内の肝炎等治療及び肝疾患診療連携拠点病院事業等について協議する。

<実績>

	回数(回)	幹事(事務局)
28年度	1	虎の門病院
29年度	1	武蔵野赤十字病院
30年度	1	虎の門病院
令和元年度	1	武蔵野赤十字病院
令和2年度	1	虎の門病院

※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、書面開催

<令和元年度詳細 事務局:武蔵野赤十字病院>

実施日時	場所	協議内容
令和元年 10月28日(月) 18:30~20:00	東京都庁第一 本庁舎42階北 側 特別会議室 D	(1) 東京都肝疾患診療連携拠点病院事業実績について (2) 東京都肝臓専門医療機関の定期報告について (3) C型肝炎地域連携パスの運用について (4) 職域向けウイルス性肝炎研修会(東京都肝疾患職域コーディネーターの養成)について (5) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について (6) その他(東京都ウイルス性肝炎重症化予防推進事業について、ウイルス肝炎治療効果判定調査について)

<令和2年度詳細 事務局:虎の門病院>

実施日時	開催方法	協議内容
令和2年 10月28日(水)	書面開催	(1) 東京都肝疾患診療連携拠点病院事業実績について (2) C型肝炎地域連携パスの運用について (3) 職域向けウイルス性肝炎研修会(東京都肝疾患職域コーディネーターの養成)について (4) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について

(3) 肝炎専門医療従事者研修

肝炎治療等の医療水準の向上に資するため、医療従事者を対象に研修を実施する。

<実績>

	虎の門病院		武蔵野赤十字病院		合計	
	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)
28年度	3	320	3	183	6	503
29年度	3	359	3	171	6	530
30年度	3	360	3	105	6	465
令和元年度	3	311	3	83	6	394
令和2年度	2	84	1	29	3	113

* 令和2年度は、4月～12月までの実績

<令和元年度・令和2年度(4月～12月分)実績詳細:虎の門病院>

実施日時	場所	参加者	講師・テーマ
平成31年4月21日 (日) 14:00～16:00	赤坂インターシティコンファ レンス	医療従事者 128名	「肝臓病の残された課題」 (1)NAFLD肝臓の現状と今後の展望 ～肝臓最新治療の現状も併せて～ 川村 祐介(虎の門病院 肝臓内科) (2)B型肝炎治療～HBs抗原陰性化と発癌抑制をめざして～ 鈴木 文孝(虎の門病院 肝臓内科部長)
令和元年7月21日 (日) 14:00～16:00	赤坂インターシティコンファ レンス	医療従事者 113名	「実臨床での肝疾患診療のポイント」 (1)高齢化社会におけるウイルス性肝炎・NASH診療 -治療の実態とマネジメントのコツ- 芥田 憲夫(虎の門病院 肝臓センター内科医長) (2)肝臓病の画像診断 -最新トレンド2019- 斉藤 聡(虎の門病院 肝臓センター内科医長)
令和元年9月8日 (日) 14:00～16:00	赤坂インターシティコンファ レンス	医療従事者 70名	「進行した肝疾患へのアプローチ」 (1) 肝疾患とサルコペニア ～肝硬変の予後改善をめざして～ 藤山 俊一郎(虎の門病院 肝臓センター) (2) 肝臓治療の現状と今後の展望 小林 正宏(虎の門病院 肝臓センター内科医長)
令和2年9月13日 (日) 14:00～16:00	会場 : 赤坂インターシティコ ンファレンス WEB視聴 : YouTube Live配信	会場12名 WEB視聴26名 合計38名	「ポストHCV時代の肝炎診療」 (1)そこが知りたい脂肪肝 ～肝硬変、肝臓への進行リスクと紹介タイミング～ 川村 祐介(虎の門病院 肝臓センター内科医長) (2)B型肝炎治療 ～HBs抗原の陰性化と肝発がん抑制を目指して～ 鈴木 文孝(虎の門病院 肝臓センター内科部長)
令和2年11月15日 (日) 14:00～16:00	会場 : 赤坂インターシティコ ンファレンス WEB視聴 : YouTube Live配信	会場11名 WEB視聴35 名 合計46名	「肝炎診療2020」 (1)「肝硬変合併症のマネジメント Up to Date」 虎の門病院 肝臓センター内科 藤山 俊一郎 (2)「肝炎診療をめぐる最近の動向～コロナ時代に我々医療人がなすべきことは～」 虎の門病院 肝臓センター内科部長 鈴木 義之

<令和元年度・令和2年度(4月～12月分)実績詳細:武蔵野赤十字病院>

実施日時	場所	参加者	講師・テーマ
令和元年7月14日 (日) 14:00～16:00	新宿NSビル	医療従事者 48名	・「B型肝炎・C型肝炎の最近のトピックス」武蔵野赤十字病院 消化器科部長 黒崎 雅之 ・「肝硬変のトータルマネジメント」東京医科大学病院 消化器内科准教授 杉本 勝俊 ・「Up to date:肝疾患診療の注意点」武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤
令和元年9月15日 (日) 14:00～16:00	武蔵野スイングホール	医療従事者 22名	・「B型肝炎と肝硬変について」武蔵野赤十字病院 消化器科 高浦 健太 ・「脂肪性肝炎の診断と治療」慶應義塾大学医学部 消化器内科准教授 中本 伸宏 ・「ポストウイルス肝炎の日常生活指導」武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤
令和2年 1月26日(日) 14:00～16:00	府中市市民活動センター 『プラッツ』	医療従事者 13名	・「B型肝炎診療の現状と課題」武蔵野赤十字病院 消化器科 金子 俊 ・「NAFLDと生活習慣病」東海大学医学部附属八王子病院 消化器内科 医長 准教授 小嶋 清一郎 ・「肝疾患診療 up to date」武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤
令和2年9月13日 (日) 14:00～16:00	会場 : 府中市市民活動センター 『プラッツ』 WEB聴講 : Zoom利用	医療従事者 29名	・「脂肪肝と日常生活」武蔵野赤十字病院 消化器科 安井 豊 ・「肝硬変と日常生活」武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 中西 裕之 ・「肝臓にまつわる制度のup to date」武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤

(4) 健康管理手帳の作成・配布

肝炎の病態、治療方法、肝炎医療に関する制度等を記載した手帳を作成・配布し、適切な治療を促進する。

<主な配布先>

都内肝臓専門医療機関、都内診療所、健康保険組合、区市町村等

<作成部数>

	B型	C型
28年度	26,000	26,000
29年度	26,000	26,000
30年度	26,000	26,000
令和元年度	26,000	26,000
令和2年度	26,000	26,000

(5) C型肝炎地域連携パスの運用 (C型肝炎ウイルス肝炎地域連携推進事業)

○概要

C型肝炎においては、従来の治療法(インターフェロン治療)よりも副作用が少なく、治療効果の高い治療法(インターフェロンフリー治療)が進展し、適切な治療とウイルス排除後の継続観察により、肝がんなどの病態悪化を早期発見・治療することが重要となっている。

肝炎診療ネットワークにおいては、かかりつけ医はC型肝炎検査陽性者等を肝臓専門医療機関につなぎ、治療後は診療情報を共有するなど連携しているところであるが、C型肝炎のインターフェロンフリー治療における一層の連携強化を図るため、平成29年7月からC型肝炎地域連携パス(「肝臓手帳」)を運用している。

○事業内容

かかりつけ医がC型肝炎ウイルス検査陽性者等を肝臓専門医療機関につなぎ、肝臓専門医療機関が地域連携パスを発行し、登録する。治療終了後は、地域連携パスを活用し、かかりつけ医、肝臓専門医療機関の双方で継続観察を行う。地域連携パス登録者については、肝臓専門医療機関を通じ、毎年度12月に追跡調査を行う。運営主体は東京都肝疾患診療連携拠点病院(武蔵野赤十字病院、虎の門病院)。

○令和2年度東京都肝炎対策実施計画における数値目標

登録数 1,300人

○登録者数及び追跡調査結果(人)

	平成29年度※1	平成30年度※1	令和元年度※1	令和2年度※1
新規登録数	573	314	325	146
かかりつけ医等から肝臓専門医療機関へ紹介数	64	80	91	56
累計登録者数	573	885※2	1,210	1,356
治療後のウイルス排除数	422	735	1,018	1,195
治療後のウイルス排除のうち肝がん発生数	15	34	47	77

※1 平成29年度は7月～11月、平成30年度は平成29年12月～平成30年11月、

令和元年度は平成30年12月～令和元年11月、令和2年度は令和元年12月～令和2年11月

※2 追跡調査によりインターフェロン治療によるウイルス排除と判明した者2人を除く

○C型肝炎地域連携パス協議会の開催

- ・地区医師会代表の出席のもと、地域連携パスの運用について協議・周知を行う(年1回)
- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、書面開催にて実施した(令和2年6月16日)

○肝臓専門医療機関等への協力依頼

- ・肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会において幹事医療機関に対し協力を依頼。
- ・都内肝臓専門医療機関の令和2年度定期報告から、過去1年間のパス登録数を記載する欄を新たに設けた。

2 ウイルス性肝炎重症化予防の推進 (ウイルス性肝炎重症化予防事業)

(1) 初回精密検査

・陽性者フォローアップ事業

区市町村に対し、陽性者の定期的な受診勧奨を行うなどのフォローアップ事業の円滑な推進のため、リーフレットを作成するなどの支援をするとともに、都保健所、職域、妊婦健診又は手術前検査における肝炎ウイルス検査で陽性と判定された者へのフォローアップを実施する。

・検査費用助成事業

区市町村若しくは東京都保健所、職域、妊婦健診又は手術前検査における肝炎ウイルス検査で陽性と判定された後、初めて受ける精密検査費用について助成する(助成回数1回)。

<助成決定状況(件)>

	助成件数	
平成26年度	38	*平成26年10月20日受付開始
平成27年度	197	
平成28年度	137	
平成29年度	94	
平成30年度	115	
令和元年度	77	
令和2年度	84	*令和2年4月～令和3年1月までの実績

(2) 定期検査

・陽性者フォローアップ事業

定期検査費用の助成により把握した肝炎患者に対し、医療機関の受診や受療状況等を確認し、受診の継続を促す。

・検査費用助成事業

肝炎ウイルスによる慢性肝炎・肝硬変・肝がんで療養中であり、定期的に受ける検査について助成する(助成回数年2回)。

<助成決定状況(件)>

	助成件数	
平成26年度	3	*平成26年10月20日受付開始
平成27年度	21	
平成28年度	23	
平成29年度	40	
平成30年度	67	
令和元年度	71	
令和2年度	62	*令和2年4月～令和3年1月までの実績